

うらら通信

平成28年1月
発心保育園

新年が始まるとすぐに昔ながらの正月遊びを楽しむ子ども達の姿が見られました。やり方を工夫したり、競い合ったりとそれぞれの年齢で遊びを楽しんでいます。



段ボールで作った羽子板で羽根つき
ゆり組がやっていたのをみてどうしてもやりたくて挑戦するたんぽぽ組。



何日もかけて作ったひまわり組の凧、出来上がると早速に小学校のグラウンドへ鮮やかな凧が気持ちよさそうに揚がっていました。

昔ながらの遊び



ビニール凧に大喜びのちゅうりっぷ組
へトへトになるまで走り回りました。



ひまわり組のひも巻き独楽
紐巻きが上手にできないと
うまく回ってくれないので
子ども達は巻いては投げて回すを
繰り返して上達していきます。



ゆり組はひねり独楽
手に力を込めて長く回れと願い回します。

左義長 (1月19日)

前日に切ってきた竹3本を組んで立てました。当日にその年に飾ったしめ飾りを飾り燃やしました。門松やしめ縄にとって出迎えた歳神を炎と共に見送る意味があり、熾火でお餅を焼き食べることで歳神様の恵みを体に取り込むことで一年を無病息災で送れるといわれています。



もぐら打ち



おもちおいしいね～
おかわりいっぱい
したいね～